

第51回「現代のラテンアメリカ」公開対談

佐藤 究×柳原孝敦

『テスカトリポカ』の世界観とラテンアメリカ

小説『テスカトリポカ』の世界から見たラテンアメリカとはいかなるものか、ラテンアメリカ文学の視点からは『テスカトリポカ』はどう映るのか。今年同作品で、第165回直木三十五賞と第34回山本周五郎賞を受賞した佐藤究氏と、ラテンアメリカ文学研究者の柳原孝敦氏が語り合う。

東京大学教授
柳原 孝敦



1963年鹿児島県生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科教授。専門はスペイン語文学、現代文芸論。著書に『ラテンアメリカ主義のレトリック』、『テクストとしての都市メキシコDF』、『映画に学ぶスペイン語』など。訳書にアレホ・カルペンティエール『春の祭典』、ロベルト・ボラーニョ『野生の探偵たち』共訳、『第三帝国』、ファン・ガブリエル・バスケス『物が落ちる音』、セサル・アイラ『文学会議』など多数。



作家
佐藤 究

1977年、福岡県生まれ。2004年、佐藤憲胤名義の『サージウスの死神』が第47回群像新人文学賞優秀作となり、同作でデビュー。16年『QJKJQ』で第62回江戸川乱歩賞を受賞。18年『Ank: a mirroring ape』で第20回大藪春彦賞、および第39回吉川英治文学新人賞を受賞。21年『テスカトリポカ』で第34回山本周五郎賞受賞、第165回直木三十五賞受賞。

日時

12/4 (土)

17:30~19:00

実施
方法

Zoom
ウェビナー

申込
方法

参加無料、事前申し込み制（先着1000名）
以下の申込フォームよりお申し込みください。
<http://s.rikkyo.ac.jp/2c8d567>



申込フォーム

【問い合わせ先】 立教大学ラテンアメリカ研究所事務局
E-mail: late-ken@rikkyo.ac.jp Tel: 03-3985-2578

【主催】 立教大学ラテンアメリカ研究所